



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

有功やまぐち

第6号

2018年6月発行

会長挨拶

山口県日赤紺綬有功会 会長 平岡 英雄
(株式会社西京銀行取締役頭取)



会員の皆様には、平素から当会の運営につきまして格別のご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、当会は、赤十字の支援団体として様々な事業を通じて、赤十字活動の着実な推進に貢献できています。

平成29年度は、福岡県で発生した「九州北部豪雨災害」をはじめ記録的な大雨による大規模災害の頻発。また海外では、自然災害に加え貧困や政情不安から紛争に発展し、難民問題などが深刻化しました。

今年は明治150年の年であり、また日赤山口県支部の設立から130年の節目の年となります。明治時代に起こった西南戦争において、両軍の傷病者を救護することをきっかけに設立された日本赤十字社が、これからも人道の実現を実践できるよう、当会としては紺綬有功会員の仲間づくりを進め、今後もより一層の支援をしていく所存です。

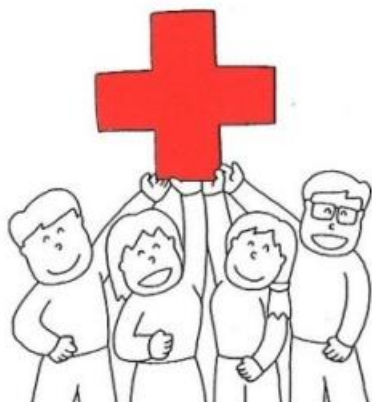
会員の皆さまにおかれましては、赤十字活動の普及促進にも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

日赤県支部へのご寄付にご協力お願いします

日赤県支部では、災害救護活動をはじめ、全ての事業の公平・中立・独立を守るために、国や県・市町からの補助金を一切受けることなく、県民の皆さまの寄付金のみを資金としております。

支部へのご寄付は、口座振替を利用した会費納入や一時金など様々な形で受け付けておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



紺綬有功会の仲間づくり運動

当会は、日赤県支部の活動に協力し、赤十字の人道・博愛の精神の普及とその事業の推進に協力することを目的に、活動しています。

つきましては、本年も赤十字事業を支援する輪を広げるために、活動資金納入の勧奨と、一人でも多くの方が有功会へ入会いただけるよう勧誘をお願いします。

平成29年度の主な事業

山口県日赤紺綬有功会総会・講演会を開催



7月26日、翠山荘（山口市）にて、平成29年度山口県日赤紺綬有功会総会を開催いたしました。平成28年度の事業報告、決算報告ならびに平成29年度の事業計画、予算について、審議・承認されました。その後、平成28年度に実施した「赤十字いのち・健康・尊厳フォトコンテスト」の表彰式を開催し、会長から3名の受章者に表彰状と記念品の授与がありました。



午後から行った、NPO法人大阪ライフサポート協会 牛田 尊（うしだ たかし）氏による特別講演会「あの日あの場所で救われて～AEDとのめぐり

あい～」には会員・一般の方、総勢30名を超える来場がありました。

いかに早くAEDを使用して処置を行うか。その大切さを経験談から訴えられました。会の後半では、赤十字救急法指導員によるAED体験会を行いました。



日赤紺綬・有功会会長協議会総会に出席



10月19日～20日、高松市の「JRホテルクレメント高松」にて、平成29年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が開催され、平岡会長、支部事務局長が出席しました。

総会では、平成28年度の事業・決算報告、平成29年度の収支中間報告について承認され、香川県文化芸術局長の窪保彦氏による「瀬戸内国際芸術祭の島々」の講演も行われました。

山口県日赤紺綬有功会設立50周年記念事業「イトスギ植樹」

山口県青少年赤十字賛助奉仕団によるイトスギ植樹の事業を、当会の設立50周年事業として支援し3年が経ちました。平成29年度には、県内の青少年赤十字加盟校に4本の植樹を行い、これまでの植樹数は8本となりました。



山口県立豊浦高等学校



山口県立長府高等学校



美祢市立於福中学校



山口市立大殿小学校

赤十字創設者のアンリー・デュナンが活動始めるきっかけとなった、ソルフェリーノの丘（イタリア）に群生していたのがこのイトスギ。赤十字の精神を世界に広めようと、イトスギの種は世界中に配布されました。日赤では、ぐんぐんと天高く真っ直ぐ伸びるイトスギを、子どもたちの成長に擬え、青少年赤十字のシンボルツリーとしました。

日赤山口県支部への支援事業

平成29年度事業計画に基づき、日赤県支部への支援として「第5回救急法競技大会」への共催、「第2回赤十字フェスタ」へ協賛、また「海外たすけあい」にも寄付をし、協力しました。

第5回赤十字救急法競技大会 共催

9月9日に山口南総合センターで開催された大会を共催。学校・職場、友人等でのグループに加え、初めて家族での参加があり、全30チーム、106名が、「心肺蘇生の部」と「応急手当（三角巾包帯法と搬送）の部」の2部門で競いました。

当会では、出場者やボランティアスタッフに、日赤クロくま付箋、赤十字冊子「災害がおこったときに」を配布し、会の広報をしました。また会を代表し、山本喜琅副会長が健闘したチームを選出し、「特別賞」の授与を行いました。



第2回赤十字フェスタ 協賛

10月22日、1,000人を超える来場者で賑わった山口赤十字病院、小野田赤十字病院、山口県赤十字血液センターとの合同イベント「もっと知って！やまぐち赤十字フェスタ 2017」に協賛。

オープニングを飾った青少年赤十字加盟校の山口市立大殿小学校合唱部には、当会より記念品としてお菓子の詰め合わせをプレゼント。そして一番人気の放射線科探検ツアー参加者には、イベントバッジを作製しプレゼントしました。



表彰制度について

日本赤十字社への寄付に対しては、日本赤十字社や国からの表彰制度があります。

表彰区分		表彰基準額等
日本赤十字社	支部長感謝状	累計10万円以上
	銀色有功章	累計20万円以上
	金色有功章	累計50万円以上
	社長感謝状	金色有功章受章後、更に50万円以上
国	厚生労働大臣感謝状	同一年度内に100万円以上（法人300万）
	紺綬褒章	一時に500万円以上（法人1,000万）

ご質問の多い
表彰制度について
お答えします！



日赤県支部は、明治21（1888）年の設立から、今年で130年を迎えました。これまで寄付や献血、ボランティアで支えてくださった皆さまに感謝申し上げます。
平成29年度の事業を報告します。

1. 災害救護体制の充実・強化



赤十字の使命である災害救護活動を迅速かつ的確に実施するため、救護班を編成し、支部職員その他、赤十字病院の医師・看護師や赤十字奉仕団を対象に、計画的な救護訓練や研修会を通じて救護知識の習得と技術の向上を図りました。

・救護員の登録	398人
・災害救護訓練	4回 延べ110人参加
・災害救護研修会	8回 延べ71人参加

2. 健康・安全のための知識・技術の普及

「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の理念のもと、具体的な知識や技術として一般の人々に広めることを目的として、『いのちと健康を守る各種講習会』を開催しました。

・救急法 ・健康生活支援講習 ・幼児安全法
・水上安全法 ・家庭あんま術講習 450回実施 受講者数 15,689人



3. 青少年赤十字活動



次世代を担う青少年が、赤十字精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、加盟校の拡大を進めるとともに、指導体制の充実やメンバーの増強と資質の向上に努めました。

【加盟の状況】

・保育園 2園、幼稚園16園、小学校68校、中学校28校、高校39校
特別支援学校 1校 154園・校



2回目

会員友好の輪
会員の皆さまをリレー方式で
ご紹介します！

有功会員 藤元美晴さん（67歳）

○趣味

写真撮影、梅や柑橘類のジャム作り、梅や大根の漬物作り、園芸、撮影のために古代バス（蓮）を分根や種から育てます。（希望者には分根しています。）

○入会のきっかけ

献血をして赤十字有功章を頂き、平成4年8月に山口県日赤紺綬・有功会から勧誘があり入会しました。

○会に期待することなど

会員を増やすために受章者に勧誘をしてほしい。

○会員の皆様へ一言！

総会に参加しましょう

日赤県支部活動資金へのご寄付に
ご協力をお願いします

自治会・町内会を通じたご協力のほか、お近くの金融機関から手数料無料でお振り込みいただけます。

西京銀行 山口支店 普通 2075763

ゆうちょ（口座番号）01590-3-4076

（加入者名）日本赤十字社山口県支部

その他、口座振替やクレジットカード決済による活動資金納入の方法もあります。詳しくは事務局にお問合せください。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

発行元

山口県日赤紺綬有功会事務局

山口市野田172-5 日本赤十字社山口県支部内

TEL:083-922-0102/FAX:083-932-3615